

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	該当施策なし：河川課
---------	------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	砂利採取関係業務		
目的	(1) 対象	砂利採取場周辺の住民	
	(2) 意図	災害を未然に防止し、生命財産が保護されるようにする。	
事業概要	砂利採取業について、砂利採取業者としての資質を有する者を登録し、基準に適合した砂利採取業者の計画の認可を行なうこと等により、砂利の採取に伴う災害を防止し、砂利採取業の健全な発達に資する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度間の未廃止・無認可採取場減少数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	未廃止・無認可採取場を減少させる	目標値	0.00	0.00	1.00	
			実績値	0.00	0.00	1.00	0.00		
			達成率		0.00	100.00			%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00		%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	106	240
うち一般財源(千円)	106	240

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

単年度の目標は達成できなかった。なお、4カ所の未廃止採取場がある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

引き続き未廃止採取場について、跡地処理を行うよう業者へ指導をしている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・業者の所在が不明な未廃止採取場がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・経営状況が思わしくなく、跡地整備工事をする経費が不足している事業者がある。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・定期的にパトロールを実施し、新たな未廃止採取場が発生しないようにする。
 - ・未廃止採取場の廃止に向けて、事業者を指導する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

未廃止採取場を増やさないため、事業者が倒産・消滅に至る前に廃止処理を指導できるようパトロールを強化する必要がある。また事業者が倒産・消滅した採取場について破産管財人や土地所有者などと協議し、廃止措置ができるよう交渉する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）